



5月社長定例記者会見概要

本日、テレビ佐々木社長、ラジオ三村社長、BS 相子社長による定例記者会見が行われました。概要は以下の通りです。

<令和を迎えて>

平成から令和への時期と、放送界の変革の時期がぴったり重なったと感じている。放送界は再創生(reinvent)の時代に入っていく。例えば5Gをどうしていくのか、GAFAなどの巨大な海外勢力とどう向き合うのか、コンテンツを評価するビジネスの新しい指標をどう考えていくのかなど、行わねばならないことは多い。ただ本来の我々の仕事である「コンテンツをしっかりと作っていく」ことは、ぶれずに行っていく。

一方で、新しいライフスタイル、ワークスタイルの時代を築いていきたい。TBSも女性社員が増えており、毎年新入社員の約半数が女性だ。令和は、女性が大いに活躍する時代になると思っており、マスコミが「男の職場だ、3Kだ」というイメージを払拭していきたい。そういうこともあり、TBSらしい働き方を「T-work」と名づけ、積極的に取り組む。昨年「はなさかす保育園」を作った。放送局では一番早かったと思う。加えて今回、新たに「テレワーク」を導入する。まず、育児、介護、病気治療を抱える社員に今トライアルを実施しており、秋からは本格的にこうした社員に向けて実施し、来年の東京オリンピック・パラリンピックの開催にあわせ、対象を一般社員に拡大する予定。「T-work」は、TBSらしい働き方の「T」であり、タイムマネジメント、そしてテレワークの「T」でもある。導入するぞと、全社に大旗を振っている。

<編成関連>

2019年度これまでの視聴率は、全日4位、G帯4位、P帯3位、NP帯4位となっている。GP帯については引き続き世帯10%超えが目標だが、全日帯は苦戦しており、底上げが課題だ。4月にリニューアルした『あさチャン!』は、内容の改善を加えている。また、夜は『NEWS23』が、来週からメインキャスターに小川彩佳さん、スポーツキャスターに石井大裕アナウンサーを起用するなど、新しい顔ぶれで、全面リニューアルする。

<決算概況>

連結売上高は3,663億円で43億円の増収。営業利益は185億円で2億円の減益。中核となるTBSテレビがタイム収入の伸びなどで増収となったほか、スタイリングライフ・グループやDVD販売を手掛ける子会社が好調だったことから、連結の売上高は増収だった。一方で、BS4K放送開始に伴う費用の増加、テナントの修理費用などから、営業利益はわずかながら減益となった。また、投資有価証券の一部を売却し、特別利益を計上したため、最終利益は252億円で、過去最高となっている。

<営業関連>

タイムセールス:4月は、レギュラー番組の実績が前年を下回った。5月は「世界リレー」の売上などが寄与し、前年を上回る見通し。今後は、9～10月にドーハで開催される「世界陸上」のセールスを本格化し、前年の「アジア大会」などの反動減をカバーすべく努力する。
スポットセールス:4月は地区投下量が前年に届かない中、当社はシェアを大きくアップさせ、前年比 102.8%と、順調なスタートとなった。スポットに関しては今後も不安定な要素があるので注視し、シェア拡大に努め、前年実績を目指す。

<事業関連>

IHI ステージアROUND東京の次の企画は、不朽の名作「ブロードウェイミュージカル ウェスト・サイド・ストーリー」。世界初となる回転劇場での演出は、ブロードウェイで活躍している海外一流クリエイティブ・スタッフとステージアROUNDのプロデューサーがタッグを組んだものだ。選び抜かれた海外キャストが来日公演する。8月19日のプレビュー公演、22日の開演に向けて、現在製作準備が進んでいる。「ウェスト・サイド・ストーリー」は、スピルバーグ監督が映画のリメイク版をこの夏撮影開始する予定と聞いており、改めてこの作品のブームがやってくるのではないかと、タイムリーだと感じている。

<ラジオ関連> TBS ラジオ 三村社長

昭和に花開いたラジオだが、平成はメディアの多様化、ニーズの多様化、「枠から人へ」という広告主の変化など、ラジオにとっては逆風が吹き、ずっと退却戦を余儀なくされた。しかしその裏で、業界が一致団結してradikoを作り出し、普及させ、今やラジオ番組は、いつでもどこでも聴けて、SNSでシェアまでできる、デジタルメディアとしての要件をすべて満たすメディアへと生まれ変わった。また、東日本大震災の教訓から、国も一緒になって、FMを聴くことができるスマホ「ラジスマ」を開発し、世に送り出すことに成功した。オールドメディアの代表格だったラジオは今、自信を持ってニューメディアと言えるのではないかと。令和元年をニューラジオ元年と位置付けて、ラジオメディアとTBSラジオのプレゼンスアップに努めていきたい。

第56回ギャラクシー賞ラジオ部門で『TBSラジオ年末交通情報～おまけ付き～』が入賞した。この番組は、昨年12月28日に放送された年末特別番組で、交通情報キャスターへの一日密着取材、キャスター座談会、過去の交通情報音源などを中心に、ラジオ交通情報の“ウラ側”をドキュメンタリー風に描いた。5月31日に行われる贈賞式で、入賞作品の中から大賞が発表される。2002年に創設された「放送人グランプリ2019」の各賞が5月10日に発表され、『森本毅郎・スタンバイ!』が優秀賞を受賞した。1990年4月スタート以来、長きにわたりバランス感覚に優れた報道番組を放送し続ける功績が表彰された。パラスポーツを通じて、みんなが個性を發揮できる未来を目指す「TEAM BEYOND」とのコラボレーション企画が、6月3日からスタートする。この企画を通じて、パラスポーツへの理解と促進を目指す。平日夜の情報ワイド『アフター6 ジャンクション』内で、パラスポーツの新たな楽しみ方を提案する新コーナー「ビヨンド・ザ・パラスポーツ」がスタートするのを皮切りに、TBSラジオとして、2020年3月までの10か月間、様々な番組を通じたパラスポーツ応援企画やイベントなどを実施していく予定。

<BS 関連> BS-TBS 相子社長

令和の時代となったが、BS 放送として一層の価値向上をはかっていくと同時に、9 月からは BS 日テレの 4K 放送もスタートし、来年は東京オリンピック・パラリンピックも控えており、4K 放送普及促進に向けてコンテンツの企画開発に努めていきたい。2018 年度決算については、BS 民放 5 社間で売上は第 2 位、営業利益は第 1 位という結果。今年度に入ってから営業セールスに関しては、4 月は前年度を超え、予算も達成。5 月も前年超えは見えてきており、予算に対してどこまで近づけるか追い込み中。5 月と 6 月はバレーボールネーションズリーグという非常に大きなセールス案件を完売につなげることが前年超えと予算達成に向けての大きな要因となる。編成関連は、世界のトップ 16 チームが集結するバレーボールの国際大会「ネーションズリーグ」が 5 月 21 日に開幕。約 1 か月半にわたって日本開催ほか世界各国で繰り広げられる熱戦の模様を、男女とも日本代表の全試合を放送予定。プロ野球は、6 月に 2 試合を放送予定。6 月 8、9 日は午後 2 時から「PGA TOUR チャンピオンズ Mastercard ジャパン選手権」の 2 日目と最終日を放送予定。世界ゴルフ殿堂入りを果たしたメジャー王者や往年の名選手が出場。6 月 15 日より 7 時から『秘蔵映像！美空ひばり～時代を超える名曲たち～』を放送。世代を越え、ひばり所縁の人たちに取材を敢行、貴重映像を交えて紹介。事業関連は、東京展を大盛況で終えた「トルコ至宝展 チューリップの宮殿 トプカプの美」が会場を京都国立近代美術館に移して 6 月 14 日～7 月 28 日まで開催。

以上